



キャリアサポートネットワーク  
**【小学生向け】**  
**キャリア教育プログラム**

＜＜小学校におけるキャリア教育の目標＞＞

- 自己および他者への積極的関心への形成・発展
- 身の回りの仕事や環境への関心・意欲の向上
- 夢や希望、憧れる自己イメージの獲得
- 勤労を重んじ目標に向かって努力する態度の形成

# キャリアサポートネットワーク 小学生向けプログラム 職業人インタビュー



## ◆ねらい

実際に働いている人、働いていた人と直接対話をする中で、仕事の面白さ、やりがいを理解し、就労感・職業観を高めることで、将来のキャリア形成へ活かしていく。また、自分の将来を考えるための参考にする。

## ◆事前準備

- ・事前にグループで質問事項をまとめる
- ・インタビューでのグループメンバーの役割を決める（質問、記録、タイムマネージメント等）

## ◆すすめ方

- ・子どもたち3～4名程度で1グループになってインタビューを行い、GSNから派遣された職業人が、自分男経験をもとに、生徒からのインタビューに答えます。GSNから派遣されるのは、職業経験豊富なキャリアの専門家です。



## ◆インタビュー後

- ・インタビューの内容をチームごとにまとめる
- ・感じたこと、感想をまとめる
- ・各チームで発表する



## ◆児童の感想から

- ・「仕事で嬉しいことを聞いたら、皆が『人に感謝されること』と言っていた」
- ・「仕事に対しての良いところを見つけて、良いイメージを持てるようになった。自分の考え方が変わった。（働くことが）前は軽い言葉だったけど、今はひとつひとつに意味がある」
- ・「夢に対しての今までと違う強い意志をGET、集中力GET、新しい考えをGET」
- ・「夢を通して仕事のことへの思いが強くなっていることに気づきました」
- ・「夢・仕事はみるものじゃない。叶えるもの」
- ・「いつまでも挑戦者であることが人生を楽しむこと」
- ・「NPO 団体の方々からの大事な言葉、体験したことからの教え、やってみなければ始まらない」

## ◆先生からのコメントから

- ・「授業全体を通し、極力・ギリギリまで子供達が考え・行動するようにした。また、クラス全員の一人ひとりに1対1で本気に向き合った。（本気になる機会の少ない子供達が本気になった）」
- ・「明らかに、職業人インタビュー授業の実施後は、子供達の取り組み方・意識に変化が出た。」
- ・「素直な取入れ方、積極的な取り組みがみられた。（職業人の皆さんが真剣に答えてくれた）」
- ・「「大人を信用しない。言われたことを最小限返すだけ。」のような子供に、変化がみられた」

【授業モデル】 \*カリキュラムは一例です。学校の情に応じた柔軟な実施が考えられます。

### 1 限目

#### 職業人インタビューの準備をしよう

- ・インタビューするチームを作る  
（3～4名程度）
- ・インタビューの質問を作る
- ・インタビューの役割を決める

### 2 限目

#### 職業人にインタビューをしよう

- ・職業人の紹介とあいさつ
- ・各5～10分ずつ1チームが  
職業人3人にインタビューする
- ・会場…体育館、各教室など

### 3 限目

#### 職業人インタビューの内容をまとめる

- ・インタビュー内容をチーム毎にまとめる
- ・インタビューをして感じたこと、感想を  
まとめる
- ・各チームで発表する

◆ねらい

自分の関心あることからどんな仕事があるのかを考える。未来の仕事は自分の興味や関心と繋がっていくことに気づき、「考える力」、「学ぶ力」、「生きる力」を育む。

◆準備

CSN メンバーが興味ジャンルにひとりずつオブザーバーでつく  
(できれば、自身の興味と合致するジャンルへ配置)

◆すすめかた

1. 「私の興味を知ろう」

①興味ジャンルから、自分の興味のあるジャンルを選ぶ

(教える仕事、人を守る仕事、人の役に立つ仕事、国際的な仕事、乗り物・機械に関わる仕事、芸能界の仕事、オシャレに関する仕事、創造的な仕事、動物や自然に関する仕事、コンピュータの仕事、法律・金融・政治の仕事など)

2. 「興味からみえる仕事はなんだろう」

①ジャンル別に1グループになり、ジャンルに分類される仕事をできるだけ書き出す

※グループ人数はひとりでもよい。スタッフがサポートいたします。

②その仕事の内容を知ろう

③その仕事ではどんなことが必要とされるだろう

④その仕事の魅力(楽しいこと、やりがい、苦しいこと、辛いこと)は何だろう

⑤その仕事をするにはどうすればいいのだろう、どうすればなれる？

⑥2, 3, 4, 5で調べたことを発表しよう

⑦振り返りタイム

【注意】

- ・活動中に他のグループに変更することは可能
- ・全員が発言するように促す
- ・まわりの意見を否定しない
- ・まわりの話をさえぎらない
- ・他者の意見も尊重する
- ・決めつけないこと、答えは一つではない

3. 「職業人インタビュー」を実施 ※前頁を参照

◆オプション1 「仕事と仕事を組み合わせてみよう」

ねらい：仕事の背景に何が見えるか、仕事と仕事の関連性をイメージする力を育む

内容：興味ジャンルから選択した仕事をランダムに組み合わせて出来る仕事(産業)を作ってみる。

例) 料理研究家\*陶芸家=「お好みの器で食べるレストラン」経営

本屋\*アナウンサー=「お好みの本を読みます屋さん」

◆オプション2 「わたしが出会った働く人」

ねらい：身の回りにどれだけの仕事があり、どんな仕事にどんな人が働いているのかを知る

内容：1日に出会った人の職業を調べて発表し合う。

**特定非営利活動法人キャリアサポートネットワーク**

〒272-0114 千葉県船橋市緑台 1-3-1-304

TEL 047-440-1790 / FAX 020-4662-2067

メール info@cs-network.jp

◆東京連絡事務所

〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町 1-3 大島ビル 2F

<http://www.cs-network.jp/>